

大会テーマ

森が支える日本の未来
私たちの手で作り出そう

第53回

全国林業後継者大会

埼玉2025

令和7年 5月24日(土) 13:30-16:30

会場 飯能市市民会館



第53回

全国林業後継者大会

埼玉2025

開催目的

この大会は、第75回全国植樹祭関連行事として、全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業を担う人たちが希望や誇りをもって働き続けられる林業の魅力を全国に発信することを目的に開催する。

大会テーマ

**森が支える日本の未来
私たちの手で作り出そう**

もくじ

大会プログラム	P2
特別講演／パネルディスカッション	P3~4
大会宣言	P5
オープニング・大会記念品紹介	P6

大会プログラム

オープニング

13:30~13:45

コカリナ演奏

黒坂黒太郎 & さいたまコカリナアンサンブル

開会式典

13:45~14:15

開会の言葉

第53回全国林業後継者大会埼玉県実行委員会会長

井上 淳治

主催者挨拶

埼玉県副知事

山崎 達也

全国林業研究グループ連絡協議会会長

齋藤 正

歓迎の言葉

飯能市長

新井 重治

来賓祝辞

林野庁長官

青山 豊久様

一般社団法人全国林業改良普及協会副会長

田中 惣次様

来賓紹介

特別講演

14:15~14:55

「世界の林業動向から読み解く日本の森の未来」

株式会社農林中金総合研究所 主任研究員 安藤 範親氏

休憩 14:55~15:10

パネル ディスカッション

15:10~16:15

【テーマ】

持続可能(サステナブル)な林業って何なん?^{なん}

【コーディネーター】 駿河台大学 副学長／一般社団法人里山こらぼ 代表理事

平井 純子氏

【パネリスト】

株式会社FOREST COLLEGE 代表取締役

高橋 昭夫氏

株式会社ウッドイーコイケ 常務取締役

小池 啓友氏

合同会社西川Rafters 代表社員

若林 知伸氏

秩父広域森林組合 森づくり推進第二課長
兼 木材センター所長

門平 宗久氏

株式会社森田建設緑化 緑環境事業部

福永 果林氏

吉野 薫氏

大会宣言

埼玉県立秩父農工科学高等学校 森林科学科

生富 勇乃介氏／沼澤 涼氏

閉会式典

16:15~16:30

次期開催県挨拶

第54回全国林業後継者大会愛媛県実行委員会会長

菊池 俊一郎氏

閉会の言葉

第53回全国林業後継者大会埼玉県実行委員会副会長

浅見 浩司

特別講演／パネルディスカッション



特別講演

株式会社農林中金総合研究所 主任研究員

あん どう のり ちか

安藤 範親氏

2010年農林中金総研入社、調査第二部にて国内のマクロ経済分析を担当後、2013年より基礎研究部にて、林業・林産業の研究を担当。2023年よりリサーチ&ソリューション第2部所属。木材利用システム研究会やWSN(ウッドソリューション・ネットワーク)等の活動に従事しているほか、近年はウッドショックやESGをテーマとした講演多数。

林業・木材利用にかかわる専門家として幅広い分野の委員を担当

- ・林野庁「生物多様性保全に資する森林管理のあり方に関する検討会」委員(23年11月～24年3月)
- ・林野庁補助事業「CLT・LVL等の建築物への利用環境整備事業」委員(21年9月～24年3月)
- ・林野庁補助事業「外国人材の能力評価等に関する専門委員会」委員(23年1月～24年3月)
- ・木材利用推進中央協議会「木材利用優良施設コンクール」委員(22年～)



パネルディスカッション

コーディネーター

駿河台大学 副学長／一般社団法人里山こらぼ 代表理事

ひら い じゅん こ

平井 純子氏

大学卒業後、都内私立中高校の地歴科教員。第一子出産後大学院へ進学。博士後期課程満期修了。退学後、北海道知床で財団職員として世界自然遺産での環境保全や環境教育、その発信に携わる。2009年大学就任後、飯能市エコツーリズムの推進に尽力、2014～20年は飯能市エコツーリズム推進協議会会長として活動した。2014年より埼玉県中山間ふるさと支援隊事業で学生とともに古民家活用、子どもキャンプのプログラム醸成を実施、アウトドア人材育成に関わる。2020年から1年間フィンランド・オウル大学客員教授として、持続可能な観光、環境教育について研究。現在、授業科目「森林文化」で行政、地域住民とともに学内の里山をフィールドにマウンテンバイクのルートづくり等、多様なステークホルダーの参画による里山の利活用に取り組む。里山こらぼでは放課後児童クラブの運営を受託、北欧のエッセンスを取り入れたクラブ運営を実践しつつ、里山資源を活用したエコツアーの企画運営に楽しみながら取り組んでいる。



パネルディスカッション

パネリスト

株式会社FOREST COLLEGE 代表取締役

たか はし あき お

高橋 昭夫氏

株式会社FOREST COLLEGE代表取締役。ログビルダー・教育者。元々教師として教育の現場に立っていたが、自然とともにある暮らしの価値を伝えたいと強く思い、ログビルダーとしての道を選んだ。誰も足を踏み入れなかった埼玉県寄居町の山に分け入り、木を倒し、道を作り、伐った丸太を組み、自らの手でログハウスを建ててきた。現在は、林業技術者の育成や森林教育、ログハウス建築を通して、人と森の持続可能な関係を築く取り組みを続けている。脊髄性筋萎縮症という難病とともに生きているが、林業労働災害を一つでも減らし、志ある若者を育て続けたいという覚悟を持って研修指導を行っている。林業を「仕事」としてだけでなく、「人生の道」として歩んでもらうため、研修では技術指導に加え、現場で生きるための安全知識、就職後の悩みにも向き合うキャリア支援も行っている。育てたい人材は「森の継ぎ人」であり、命ある限り、言葉ではなく行動で、林業の未来を語り続けていくという思いを持っている。



パネルディスカッション

パネリスト

株式会社ウッディーコイケ 常務取締役

こ いけ ひろ とも

小池 啓友氏

埼玉県秩父市出身。大学進学とともに東京に移住し、就職も都内の紳士服販売会社に勤める。令和3年に家業である(株)ウッディーコイケを継ぐべく秩父市に戻り、同年9月に常務取締役役に就任。同社は森林所有者の調査から、森林経営計画策定、植林、育林、伐採、製材、住宅資材のプレカットや造作加工など、林業・木材産業の川上から川下に至るまで、自社で一気通貫して行っている。常務取締役就任後、同社の林業部門である「山林部」の強化をはかり、埼玉県内はもちろんのこと都内在住者のリクルート活動も積極的に行う。林業の過酷さや社会的意義、製材やプレカット加工の奥深さを伝えるべく、取引先工務店やゼネコン、自治体、地域の経済団体、教育機関等あらゆる団体の視察を受け入れ「伐採見学ツアー」と銘打ち、啓発活動を行っている。



パネルディスカッション

パネリスト

合同会社西川Rafters 代表社員

わかばやし とも のぶ

若林 知伸氏

さいたま市出身。森林施業プランナー、准木材コーディネーター。メーカー研究開発職に従事後、岐阜県立森林文化アカデミーに入学。木工専攻に所属しつつ、地域の木材流通に興味を持つ。出身の埼玉県で就職先を探していた際に、井上淳治氏に出会い、西川林業地域に興味を持つ。卒業後、西川広域森林組合に入組し業務課に配属。2022年3月に同組合を退職し、同年7月に西川Raftersを地域の若手と共に立上げ、現職。森林整備だけでなく空間利用を行うことで、森とまちを繋いでいくことを目指す。



パネルディスカッション

パネリスト

秩父広域森林組合 森づくり推進第二課長 兼 木材センター所長

かど ひら むね ひさ

門平 宗久氏

秩父郡皆野町出身。埼玉県立秩父農工高等学校 森林科学科 卒業。平成11年10月、秩父木材センター協同組合に入組。平成14年10月に秩父都市の単位組合の広域合併により秩父広域森林組合へ運営委託。平成17年4月に秩父広域森林組合が木材センター業務を継承し、現在森づくり推進第二課長兼木材センター所長として業務を邁進している。森づくり推進第二課では搬出間伐や皆伐及び特殊伐採(支障木等)による搬出班の工程管理に努め、素材の出荷数量管理を行っている。木材センターでは県産材の販路拡大のため、web入札を始め、県内外の買受者拡充を図り、有利販売を実現し、組合員への利益還元に努めている。



パネルディスカッション

パネリスト

株式会社森田建設緑化 緑環境事業部

ふく なが か りん

福永 果林氏

神奈川県川崎市出身。日本大学生物資源科学部森林資源科学科を卒業後、伐採・加工・利用・植林と、一連の管理・工事に携われる株式会社森田建設緑化に就職。初の女性社員ということもあり女性がない環境に置かれながらも、必死に周りについていけるように日々奮闘する。8年目となる現在は2人の女性社員とともに、チェーンソー伐倒、重機作業などの生産業務、市内公共施設・公園の管理業務や工事監督など幅広く従事。2歳の子どもと8月に第二子の出産を控えている母親でもある身として、ICT技術を活用した林業業務の効率化や情報共有システムを活用した全体業務の効率化を進めている。現在の目標は樹病学を学修し診断・治療の経験を積み、樹木医として会社に貢献することである。



パネルディスカッション

パネリスト

株式会社森田建設緑化 緑環境事業部

よし の かおる

吉野 薫氏

埼玉県飯能市出身。小さい頃から西川材を使用した家に住み、今の時代で言う“木育”のような環境のもと飯能河原や天覧山で遊び育つ。社会人になり人の心を動かすものは旅だと思い、旅行会社に就職。自らも各地を旅行するうちに、沖縄に魅了され住んでみたいと思うようになる。25歳で初めて飯能を離れ、その後9年間、沖縄の島々をめぐる暮らし。6年前に飯能に戻ってきた際、西川材を使用し姿を変えた駅や街並みに「帰ってきた安心感」をもらい改めて木のぬくもりに惹かれる。そして木に関わる仕事がしたいと思い、森田建設緑化に就職。現在、経験5年目。夏場は主に公共・民間施設の年間植栽管理、冬場は山での伐採作業や施設や個人宅等の伐採を行う。



大会宣言

本日、私たちは、埼玉県飯能市に集い、「森が支える日本の未来 私たちの手で作り出そう」をテーマに、森づくりの重要性や、林業後継者を育てるための課題と対策、持続可能（サステナブル）な林業への思いを語り合いました。

森林は、水源のかん養や、山地災害・地球温暖化の防止、木材の生産、生物多様性の保全など、私たちの暮らしを支えている社会全体の大切な財産です。

そして日本の森の多くは、その時代の林業を担う人々によって、様々な技法を用い、植えて、育て、利用されてきました。

日本の未来は、この森林の循環利用を進めながら、大切な森づくりを担う人々を、今の世代から将来の世代に渡ってつないでいくことにかかっています。

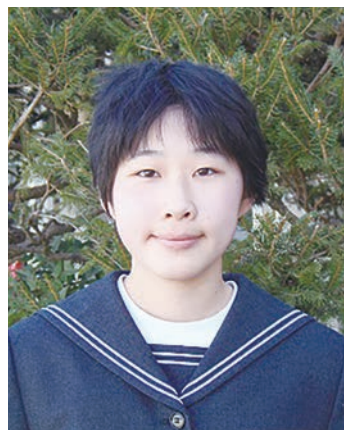
そのためには、林業という仕事が、希望や誇りをもって働き続けられる魅力のある職業となるよう、私たちが導いていかなくてはなりません。

私たちは、日本の未来のため、林業後継者の育成を図り、次の世代へと引き継ぐ取り組みを進め、私たち自身の手で健全な森を育て、豊かな社会を築いていくことを宣言します。

埼玉県立秩父農工科学高等学校 森林科学科



いくとみ ゆう の すけ
生富 勇乃介さん



ぬまざわ すず
沼澤 涼さん

オープニング

黒坂黒太郎 & さいたまコカリナアンサンブル



くろ さか くろ た ろう
黒坂 黒太郎氏

長野県上田市出身。コカリナの創始者。埼玉県飯能市在住。
1995年東欧の民族楽器を楽器として精度の高いものに改良し「コカリナ」と命名。コカリナ奏者として国内外の著名クラシックホールでコンサートを開催するなどその第一人者として幅広く活躍している。広島で被爆した木からコカリナを誕生させ、2001年国際平和シンポジウム(広島市主催)に招待され特別演奏。その被爆樹コカリナの音色はサントリーホールのCMに起用され、2008年日本CMコンクールでジャーナリスト賞を受賞。カンヌ国際広告賞にも出品された。「コカリナ」は2018年ウッドデザイン賞受賞。

さいたまコカリナアンサンブル

埼玉県内のコカリナ愛好者で結成されたコカリナアンサンブル。
様々な種類のコカリナを使い、美しく深みのある音を表現している。メンバーの多くは埼玉県内の数多くのイベントに出演する他、国内外で開催されている黒坂氏のコカリナコンサートにも出演している。



や ぐち かね み
矢口 周美氏 (歌)

大会記念品



カッティングボード

カッティングボードは、参加者の皆様に、埼玉県飯能市産「西川材」の色合いや木目、手ざわりを感じていただけるものとなっています。木材は、SGEC森林認証制度に基づくFM認証を取得した飯能市内の森林で生産されたヒノキを使用しています。

また、製作者は地元の西川材(スギ・ヒノキ)を使用して木工製品づくりを行っている社会福祉法人おぶすま福祉会飯能事業所で、ひとつひとつ丁寧に手磨きをかけて仕上げました。

ぜひ、埼玉県飯能市で開催された第53回全国林業後継者大会にお越しいただいた記念にお持ち帰りいただき、「西川材」のぬくもりを感じながらお使いください。

展示と物販

展示 埼玉県森づくり課／飯能市森林づくり課(飯能市林業振興対策協議会)／飯能市森林認証協議会／結木の会／東吾野女性林研ときめ木／林林クラブ／西川林業クラブ／秩父森林活用研究会／大滝山林振興協議会／秩父地域森林会議所／(株)FOREST COLLEGE／合同会社西川Rafters／秩父広域森林組合／公益社団法人埼玉県農林公社／西川広域森林組合

物販 NPO法人日本コカリナ協会／結木の会／秩父森林活用研究会／(一社)奥むさし飯能観光協会

主 催

埼玉県森林協会
全国林業研究グループ連絡協議会
飯能市
埼玉県

後 援

林野庁
一般社団法人全国林業改良普及協会
公益社団法人大日本山林会

協 賛

埼玉県森林組合連合会
一般社団法人埼玉県木材協会
公益社団法人埼玉県緑化推進委員会

大会運営

第53回全国林業後継者大会埼玉県実行委員会

構成団体

埼玉県森林協会／埼玉県森林協会林業研究グループ部会
埼玉県森林組合連合会／一般社団法人埼玉県木材協会
公益社団法人埼玉県農林公社／埼玉県林業女性会議「結木の会」
公益社団法人埼玉県緑化推進委員会／飯能市／埼玉県

事務局

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県農林部森づくり課内
電話 048-830-4325

